

M600 SERIES 機能と機種一覧

機能

M600

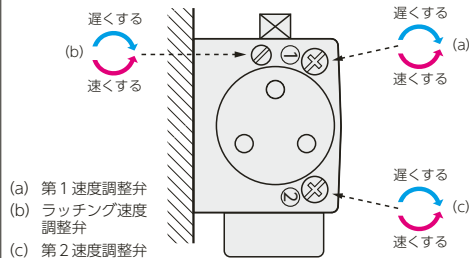
速度調整機能

- 3弁方式により、1速・2速の速度調整とラッチング調整ができます。
- 1速・2速の速度調整弁でトータルスピードを調整してください。
- ドアが閉じる寸前のスピードを速くしたい場合は、ラッチング調整弁で調整してください。

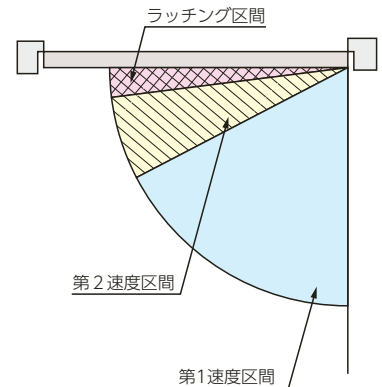
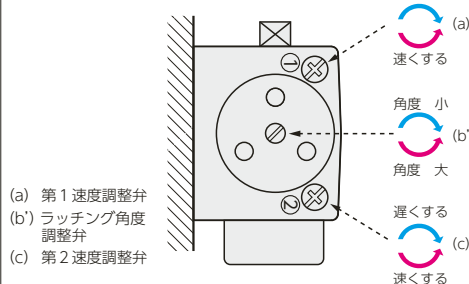
2型・3型の場合：速度を調整
(b)ラッチング角度は固定(約3°)

4～6型の場合：角度を調整
(b) 標準：1回転で約1°(最大4°)
パラレル：1回転で約2°(最大8°)

2型・3型の場合 速度調整弁の位置：吊元側



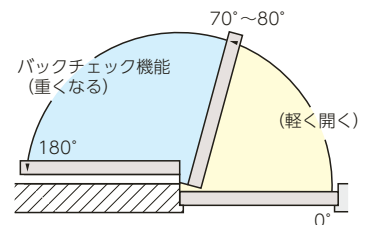
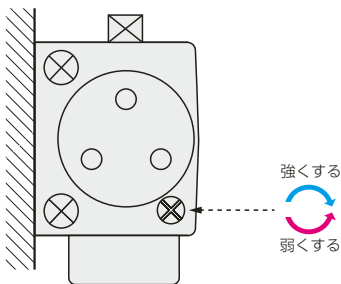
4～6型の場合 速度調整弁の位置：吊元側



バックチェック機能

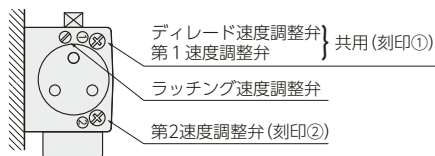
- 主に高層住宅等の強風や突風のふく場所の扉に使用し、開扉時に突風によりドアがあおられるのを防ぐための機能です。
- ドアを開ける際、70°～80°からドアのあおり防止がはたらきます。
- 記号末尾にBCで表します。(例：M612PBC)

バックチェック調整弁の位置：戸先側



ディレードアクション機能

- 主に病院等で使用し、車椅子等を押す人がドアを押さえながら通過する煩わしさを解消します。
- ドアを180°開いた状態から70°～80°に閉まるまで、非常にゆっくりと閉扉します。
- 70°～80°から完全に閉扉するまでは通常のスピードで閉じます。
- 記号末尾にDAで表します。(例：M612PDA)



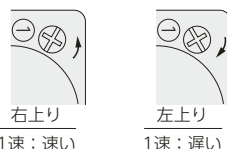
- ディレードアクション機能は180°から約75°までゆっくりと閉まる機能です。
- 第1速度調整弁とディレード速度調整弁は共用となっています。

ディレード速度・第2速度の調整



ディレード速度・第2速度の調整は、各々の調整弁を右へねじ込んでいけば遅くなり、左へ回せば速くなります。


第1速度の調整



第1速度とディレード速度の調整弁は共用ですので、ディレード速度を適当な速度に調整した後で、1速の調整を行ってください。(左記の調整弁の角度によって決まります。)

機種一覧表

平行取付の場合には、上枠の形状により最適なブラケットを選ぶ必要があります。
下記の取付条件から、最適なドアクローザを選択してください。

標準取付型		平行取付型 標準仕様		平行取付型 A型仕様(段付ブラケット)		平行取付型 L型仕様(アングルブラケット)		適用扉 幅×高さ(mm) 重量(kg)
<p>①寸法が大きくとれない場合は、フラットアームをご使用ください。記号末尾にFBで表します。(ただし、ストップ付はできません。)</p>   <p>フラットアーム</p>		<p>一般的な枠形状の場合に使用します。</p>   <p>標準ブラケット</p>		<p>上枠に戸当たり等があり、標準アームブラケットではアームが当たるため取付けできない場合に使用します。</p>   <p>段付ブラケット</p>		<p>上枠下面に取付スペースがない場合、上枠見付け部分に取付けて使用します。</p>   <p>アングルブラケット</p>		
ストップなし	ストップ付	ストップなし	ストップ付	ストップなし	ストップ付	ストップなし	ストップ付	
M611 M611FB	M611S	M611P	M611PS	M611PA	M611PSA	M611PL	M611PSL	800×1,800 15~30
M612 M612FB	M612S	M612P	M612PS	M612PA	M612PSA	M612PL	M612PSL	900×2,100 25~45
M613 M613FB	M613S	M613P	M613PS	M613PA	M613PSA	M613PL	M613PSL	950×2,100 40~65
M604	M604S	M604P	M604PS					1,050×2,400 60~85
M605	M605S	M605P	M605PS					1,200×2,400 80~120
M606	M606S	M606P	M606PS					1,500×2,700 120~180

- 全機種ともに左右勝手は共通です。
- 適用扉の幅を優先して型式をご決定ください。
- 標準取付型と平行取付型とではドアクローザ本体が異なります。
- 上記の他に平行取付段付アームもあります。

M600